


付録

導入

「ほねくんとまねっこしよう」

お話の概要


 **ねらい** パネルシアター「ほねくんとやさいすーぷ」を始める前に、子どもと保護者と演者が一緒に身体を動かし、ほねくんとママの動きをまねる。子どもたちは、ほねくんたちの身体と自分の身体が同じであることを知る。また、演者とのコミュニケーションになり導入として活用できる。さらに、まねっこを導入で使うことにより、身体を動かした結果、ほねくんのお腹が空いた状態になるという流れにもつながる。

 **対象** 幼児 ・ 保護者

 **所要時間** 10～15分

お話の流れ

 ナレーション  ほねくん  ママ

セリフ・うた	場面	演じ方
 みなさん、こんにちは～ みんな、 骨って知っているかな？ みんなのカラダの中に入っているんだよ。 今日は、みんなと同じ、 骨からできた“ほねくん”って お友達が来ています。 ちょっと恥ずかしがり屋 だから、 みんな『せーの』で 『ほねくん』って 呼んでくれるかな？ 『せーの！』 (子どもたちが呼ぶ)		






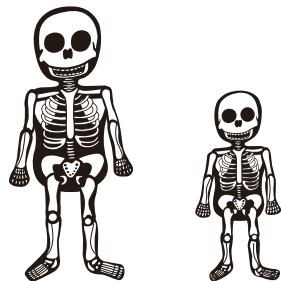

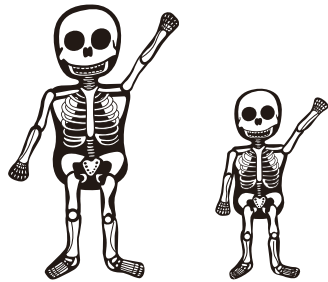
ナレーション



 ほねくん



२२

セリフ・うた	場 面	演じ方
 は〜い! みんな、こんにちは。 ぼく、ほねくんです。 今日は、ぼくのママも 来ています。ママ〜!		パネル板の裏から ほねくんの頭を持って 動かしながら 登場させて貼る。
 は〜い! みなさん、こんにちは。 (子どもたち:『こんにちは』) 元気なあいさつをありがとう。 さて、今日は、 元気なみんなと一緒に 体を動かして遊びたいと 思います。 ほねくんとママの動きを まねしてね。		パネル板の裏から ママの頭を持って 動かしながら 登場させて貼る。
 はい、みんな、その場所に 立ってください。 保護者の方もその場に 立ってください。 では、まず先生が 歌ってみるね〜!		手拍子を打ちながら歌い、 ママからポーズをつくり、 続いてほねくんのポーズをつくる。 演者も大きくはっきりと 同じ形をして、見本を示す。
♪まねっこまねっこ まねっこしよう まねっこしよう (P20 歌「まねっこの歌」 参照)		
みんな、できたかな〜? お家の方もできましたか〜? それじゃあ、 次のポーズいくよ〜!! (繰り返し)		いくつか他のポーズも 続けて行う。

お話の流れ

ナレーション ほねくん ママ

セリフ・うた	場 面	演じ方
 さあ、できたかな～？ では、この手は・・・ ♪ランランランラン 手はおひざ～		座って両手をあげる ポーズをつくり、 最後は両手を揺らしながら ゆっくりと膝の上に置く。



「ほねくん と まねっこしよう」実践例(左：幼稚園、右：児童館幼児クラブ)

コラム④

小学校における 保護者向け食育講演会での活用 学校栄養士による実践後の感想

好き嫌いに関する講演の導入に使用させていただきました。初めてパネルシアターを使用しましたが、難しいと感じることはなかったです。話す内容とパネルシアターの内容をからめて話したので、とても使い勝手が良かったです。

手遊び歌も楽しくできました。皆さんやってくださったので、長い講演の中の息抜きにはもってこいだと思いました。見るだけでなく、体を動かす場面があることはとても良いことだと思います。

保護者の方にとっても好評でした。コンロから火がでる場面、スープが出来上がる場面は歓声があがりました。小さいお子さん連れの親も来ていましたので、飽きずに楽しめたと感想をいただきました。

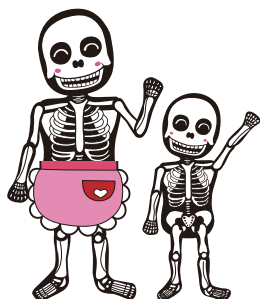
A区立小学校 栄養士

〔歌〕

🌸 まねっこの歌 🌸



まねっこ まねっこ まねっこ しょう まねっこ しょう



※手拍子をしながら、
歌って盛り上げましょう。

コラム⑤

幼稚園での活用を振り返って

幼稚園では、いつものお迎えより30分早く来てもらう、朝送ってきてそのまま30分残ってもらう、というように送迎の時間帯にパネルシアターを実施しました。場所は講堂等をお借りし、子どもは前に保護者は後ろに座って観賞してもらいました。

パネルシアターが始まると、子どもたちの喜ぶ声や笑顔で場の雰囲気は和み、後ろに座っている保護者の方も次第に笑顔になっていきました。ママにエプロンをつけると保護者の方が笑い、手遊びを大げさにするたびに子どもたちの笑い声が響き、コンロに火がつくと今度は保護者が感嘆の声をあげ、スープが出来上がると会場全体が驚きました。

後半の好き嫌いの話になっても、子どもたちは飽きることなく真剣な顔でパネルを見つめ、お話を聞いてくれました。子どもたちが真剣に聞く姿勢は、保護者の方へも届き、親子で真剣に同じテーマを共有する時間になったと感じました。

講演会では、保護者の方の笑顔が子どもにも伝わるとお伝えしましたが、子どもたちの笑顔や真剣な姿勢が保護者の方にも伝わるという相互の関係を体験した時間になりました。